

○全日本馬場馬術大会 2022

6月11日～12日、御殿場市馬術・スポーツセンターで開催された第74回全日本馬場馬術大会 Part II に5頭の遠野馬が出場し、Lクラスでティノラヴァーが優勝、サクラスタートが準優勝という快挙を成し遂げました。



遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.68

2022年7月1日

待機馬場で準備運動するサクラスタート



Lクラス優勝 ティノラヴァー (セン7) & 畑科乃選手
父 ティノ 母 07 リーナ (パイオニックエラ)



Lクラス準優勝 サクラスタート (牝11) & 進藤義浩選手
父 フリーデンスラート 母 ヴァリサクラ (ヴァリソ)



Lクラス16位 ティニタニ (セン5) & 浅川晴央選手
父 ラパノ 母 キーオスカIII (フリーデンスラート)



セントジョージ出場 スターキング (セン11) & 池上彰一選手
父 フリーデンスラート 母 アミー (カワリユウ)



Mクラス出場 ソクラテス (セン19) & 青木史子選手
父フリーデンスラート 母エウガ (SIOUX DE BAUGY)